

TOWN INFORMATION MAGAZINE

ふいのすた・小樽



8

¥200

目次

〈特集〉 忍路

鮭、それはいったい何だったのか…
…ただ、ただ、両の手を合わせるしか、
できなかつたのだ

2

小樽は再び燃えるか

忍路ニシン場の会 須磨正敏氏

3

私にとっての今の小樽

小笠原 克

8

DO OCEAN MASSAGE ヨットは楽し〈最終回〉

10

運河問題は終わってない

どうもありがとう 第3回
ポートフェスティバルを終えて

13

郷土の足跡 〈中江兆民の巻〉

21

全国手作り祭り大旋風

特派員報告レポート 〈その1〉中島川まつり(長崎市)

18

〈その2〉河原祭りり(滝川市)

20

市場めぐり 〈妙見川市場の巻〉

22

銭湯めぐり 〈仲の湯の巻〉

23

PICK UPS

夢子&お町

ふるさと井戸端会議

24

インフォメーション 知つて得する小樽の情報

30

編集後記

32

■表紙／原田 DAX

ファッションモデル

80年 プロフェッショナルな時代

個性を試す時です

労働大臣許可

- ・男性 173cm以上
- ・女性 163cm以上
- ・職種／ファッションショー、CM、TV、各種イベント
- ・年齢／18才～25才
- ・面接／10:00～18:00(休憩含む、日曜日除)

SFMG • 中央区南3条西6丁目
小川ビル2F
☎(011)221-1295
Sapporo Fashion Model Group

札幌ファッションモデルグループ



とすむれば、其ル小樽の手間でさ
え、生涯見ることのできないマチが
ここにある。島蘭局より、ひとつめのマチが
トンネルを抜けると既に急路は過ぎ
ていた。まるで地形ですら、幻のよう
に、ここはトンネルの頭上に又がり、
竜ヶ岬により、その全貌を隠している。
小樽市急路町、人口2,000人、
便樂施設、病院、原在所、
消防署など、かくも少さんこのマチに、
過去、壯絶なる男たちの誇が、幾度と
なく織り返されたとは……。



第一回鼓譟、第二回張礪、記録的にも影響度においても、事實上その頂点である。この急路に至り、はつきりと鮮の偉大さを知った。ドラマのように、つじつまを合わせる事も、筋書きもなない、その大きさと熱きと活潑さに、ただ、ただ、両の手を合わせるしか、できなかつたのだ。

そして、私の中の小樽が、この両の手の自由を失わぬうが、私のしろうと紀行は、まだまだ歩かねばならぬ事を自身、体で知らされた気がした。

苑には、カメラマンが、あるショットをチヤンスをねらいひんぱんに訪れて来る。西に夕日が、沈む時、鴎を通して、このマチ全体が、眞赤に染まるのだ。滅多にない事だが、その勇大さは北海道では、ここ一ヶ所だけだという。この夕日までが、過去の壯絶なる詩を語っているのかもしれない。

く刻まれた。そして、確かにそういう人たちが、ここにいるのだと……

〈特集〉

刀



ともすれば、地元、小樽の人間さえ、一生涯、見ることのできないマチがここにある。



編 なるほど、いろいろむずかしいさ

があるのですね。
須摩　えりと、それから私は一忘この忍路ニシン場の会の代表という事になつてゐますが、實際はまあ小便いさみみたいなもので、やはりこの会が何年も続いているというのを今30人が気持を二つにそろえているからで、それがこの会がうまくやっているからです。これが理由なんですよ。
編　そうですか。まだまだお話を伺いたいのですが、今日はこの辺で失礼します。またお話しを伺いに参りますので、どうかよろしくお願ひします。今

須摩　いえいえどういたしまして。

*須摩さんの「シン場最期の船頭、
口伊七船頭の事が須摩さんのお話しの中
で度々登場してきた。そこで、その

話しをインタビュー形式をとらずに紹介してみようと思う。

伊七船頭は青森県の百石町の出身で、毎年春、3月から5月にかけての二ヶ月漁期になると、渡り鳥のようにならぬ

の初にやつてきた。何せ物語はないもので、なんな大酒飲みだったが、番屋の漁師たる間で初心者のことにしての頃や、29才で初出で船頭になつた時の事や、鉢削に3つも詰めたニシンの中の2つまで大シンで棄ててしまつた時の事などを話しきれだが、話に熱が入つてくると右肩を大きく動かすのが常だった。

普段は全くおとなしい、人なつっこい、いき船頭だったが、いきニシンが群来

見よう考えよう小樽の町並みシリーズ 第2回

図書館は誰のもの？

寿原邸、祝津・青山邸、そして図書館、と次々に失われていく小樽の町並み。

スクラップ・アンド・ビルトの精神は小樽にとって必要か……

卷之三

60年の風雪の中、時代の変遷もさることながら、図書館利用の市民もまた増え、蔵書数も年々増え続いた。昭和17年背巻本以来、31年には分室（橋市博物館内）を設けるなどして、現在平均年6、7千冊の増加書数もビックに達してしまったのであるから改築の声が上がるのもうなはずはない。

しかし時代の流れとはいえ、こうであつざりと「手狭になりました」といふだけの理由で金道一の歴史を誇る図書館を取り壊していくものなのか、何事かよくわからない。

されてきた小樽市図書館が消え去るところとしている。現在の図書館のスペースでは蔵書数および収容人員に限界があり、新築しようということなのだ。

小林多喜二、伊藤整をはじめ数々の文学者を送り出した小樽の町で、図書館は文学の殿堂とも言ふべき創設を確実に果たしてきた。

大正12年落成、戦中は憲兵隊に接収され一時閉館になり、戦後は文化省国文庫への目覚めとともに「アメリカ文化センター」の開設、40年には図書館を無音映画としたテレビドラマが制作された。また小林多喜二は大正13年4月に創刊された雑誌「クラルチ」において同人達をこの場所に集め掲載に当つたといふ。

して東北の出稼ぎ漁師達が明日、忍路の浜をたつといふ日の晩、忍シン場、最期の「網子別れ」(漁期に勤いた仲間と別れをおもし酒宴)に勤った仲間と別れをおもし酒宴に、忍路の小学校から當時はめずらしかったテープレコードーーを借りて、漁師達にニシン場の仕事の唄を聴かせた。漁師達はよっていた事と忍路定期の事もあつて、皆興奮状態であったが、伊七船頭の音頭にのつてニシンの唄を唄つてくれたが、いかんせん興奮状態だったから、いつも勤めていた時よりも、テンポが早く嚴密に唄といえるところではなか

う事にでもなると、すつかり人がハゲ頭にねじりハチマキをしめてハゲ頭にねじりハチマキをしめまごまごとしている漁師達にてきは指示をしたものだつた。候の変化をみるのもうまかつたし、シントが網にかかつてからぬの「キヤリ」い声で唄つた。この船頭の「キヤリ」がへたくそで、まごまごとしているの中でニシンを殺してしまつて葉ければならなくなるのである。唄まく唄うといふ事も船頭の資格をもつ一つの条件だつた。

て、昭和20年の大漁（この年は文
化、千石の収穫があり、大正、昭
通して最高の漁があつた）から、
シントが徐々に来ないとこうになつて、
29年を最期にニシンがばつたりと
なくなつた次の年も網を張つて待つ
たがニシンは一匹も来なかつた。
次の年も、その次の年も、ニシン
がもこなかつた。とうとう昭和33
年を張つて、ニシンの群衆を待つ
て、この年を最期にやめる事にした。

「それから伊七船頭の家族や親戚や、人などが集まっているその通夜で、櫓から持ってきた忍路ニシン場最期の『網子別れ』の晩に唄つてもらつたんだ。音チープをかけたら、突然、そのチープレコ、一大堆から若くして元気だつたの伊七船頭のいい声が聞こえてきて、忍路やニシン漁を知らない家族の人満場の人達が、「ああ、こういう唄唄いながら故人は倒いていたんだな」と初めて知つて、みんなこうえきれなくなつて泣き出してしまつた。

本当に伊七船頭は腕もよかつたけれど、いい声でうたを唄う船頭だった。

（忍路のニシン場の櫻元だった須磨洋敏氏のお話により）

つたが、忍路ニシン場の記念すべき鉢音チープにはなつた。
さて、次の年からニシン場は止めてしまつたけれど、毎年伊七船頭のところには欠かさず年賀状を出してゐた。しかし伊七船頭は文盲だった事であつて、さっぱり返事がこなくて音不通のままだつた。ところがニシン机やめてから15年たつた、7月のある晩の事、突然青森の伊七船頭の息子か電話がかかってきて、「親父が夕死んだ」といってきた。

利用の方法を考えないだらうと思はずにはいられない。新図書館は改築場所を現在地とし、現場付近を検討しているというが、現建物の改体か保有かは今のところ明確にされておらず、改築時期は二年後くらいになるとみられる。新図書館には人口22万人の都市に匹敵する規模の建物で、ロビーなどが設けられ駐車場完備。図書館職員数2倍の20人が配置されるらしい。

素人考えながら、現図書館再利用の方法はないものかと思ひめぐらしてみて、現地は遠場付近の建設と共に現図書館をそのまま保有し、内部を鉄上資料館等としたままの状態で、小樽文學界ゆかりの人物の記念館として、新図書館と渡り廊下でつなぐ方法を提案したい。この場所で培われた小樽文學は新しい時代に設備の整った新図書館と渡り廊下を経て忘れてはなるまい。先人の足を感じる確乎たるものとなることであろう。

車社会の例にもれず、駐車場問題で

The logo features the word "NATO" in large, bold, white letters with a black outline, set against a black, cloud-like, irregularly shaped background. Below "NATO", the words "JEANS SHOP" are written in a smaller, white, sans-serif font.

私にとつての今の小樽

小笠原 克

七月十二日、北見市面々二十数人を案内で小樽を駆け廻った。春から約束であった。

北見市民大学。今年で七年目になつたが、毎年出掛けでナニガシかを喋り続いているのだが、今回は文化遺産を守るという問題にして貰つて、小樽運河を語つたのだった。懇親の席上でまたアチあけたらよし行こう、といふ遊びに衆議一決、詩を書く女性がいわば先遣隊を兼ねて全町並せざるに参加してくださつてもいた。

午前六時、北見発。私は前日出札した北見文化連盟会長の林白吉さんと、札幌市内で走り、連れ立つて落ち合う先の大狗山ニユーニ草に先回りするはずだったのが、着いてみたら北見勢はすでに食事も了えていたのに驚いた。六時間そこそこで大雪山系、空知野を走つ飛ばして来たのである。

伍助沢を抜けて塩谷、伊藤整文学碑、五号線を戻つて運河へ。そして廻展望台、小林多喜二文学碑、引き返して啄木歌碑に立ち寄つたあと銀鱗荘泊、といふのがコトスだつた。

七月三十日、弘前へ。日本近代文学会の東北・北海道支部を中心とする研究会があり、この会は五年前に札幌で聚り、夜は銀鱗泊、翌日は小樽へ散歩だつたが、その折は、元氣たつた森森茂男さんに来ていただき、携帯マイクの案内つきで運河のほとりを

皆で歩いた。署名、カンパに応じてくれた研究仲間と、今年は萬温泉の夜の一刻を「小樽運河」に費した。みんな、豪傑していくれた。

八月六日、先生がたのバス旅行ガイドで道南へ。折々の語らいにも豪傑の一決、詩を書く女性がい

運河が出た。九日、「小樽運河問題を考える会」三〇名員に、道知事

宛の「鶴見運河更案」に対する意見書、用紙を、趣旨とともに発送。

以上が、この夏の私の小樽、私の運河の主な動きであった。

意見書を出しても形式的な事務処理で片づけられてもむなしくないか、よく聞われる。そうは思わない。戦中標語にいう負ケラマセン勝ツマデハ、

である。一粒ノ麦死ナバ、である、理

由ニ在リ、た。

そうは言つても、冷やかに半分の徒輩が多くなつたのは事実である、なん

たつて汚ないよ、アノ運河は、夏場は通れただけでよい、小樽の狭い道路は、ハントイでよい。

そうはする年貢の取る時か、云々、云々、小樽港を開拓し、石狩と積木手が届く残雨、蘭島までも帶を解いてながら、また小樽の市民の運河意識は、市当局が私どもに投げかけるヨソモノ呼ばは

りありと、質單ともにどう違うんだろう

か、とも思ひ、生活の実利に就くなら、朝里の市営住宅から札幌へ通うサラリーマンには絵がないかもしれないし、

運河添いに寝起きする何百人かの住民にはやりきれない悲哀であろう。運河にかかる愁悽の意識は明らかである。

下水道対策の立ち遅れで、心ならずも運河に流れ流し続けてきた何万人かの人たちはどうなのか。小樽市民で、汚ない臭いと叫いたてて埋めろつぶせと呼ばれる人がいるなら、私はその人をいたえ何方人のようとも道理

運河に廻るのは間違いである。行政の怠慢をこそなじらなければならぬ。道路これが大義名分、錦のミハタであるらしい。札幌からバイバスおいて運河にぶつかる、塩谷から運河添いに入つてバイバスに出る。たしかに運河のひらきがある。理由は簡単で、そこにバイバスを引き込んだからだ。

そこに運河があるから、ではなかつたのだ。既成事實を極まる意識操作の恐ろしさである。

北見勢と走り抜けた伍助沢添いは、一人歩いておらぬ歩道つきの舗装が完成に近づいていた。(去年、伊藤整ゆかりの道だからと、仲間と連れ立つて天地のひらきがある。理由は簡単で、そこにバイバスを引き込んだからだ。

に、まず喫驚した)これは、私には、小樽市の道筋かくし、しかし思えなさい。札幌からの夏の海水浴客は、長橋あたりのすさまじいラッシュに巻き込まれるが、知らないから、ではなく、知らせられてないからだ。信号機ひとつなく、最上町から塩谷まで七分そこそここの立派な道路——まさに寄ラシムベシ知ラシムベカラズ、だ。

背と逆い、多喜二神から小田観音碑に至る山道も、砂利入り幅も広くなつた。観光バスだつて、ちゃんと連れていった。運河沿いに、まだ、小樽を知らない都市が蘇える、

運河を駆け廻る船の淋しさよ。だが、これを閉ざされた平水面、として捉え直すなら、海上スボーツの絶好の基地ともなるのだ。そうなれば、運河も倉庫も、別途の使用価値が蘇る、

市も港湾ボスたちも、どうも明治以来の五つ玉ソロバンをはじいて居はせぬか。

小樽は、小樽を知る日本中の人が、好きでたまらぬ街である。嬉しい町に、暇人のはかだれがあれこれ物言おうぞ、好きだからだ。ここに在るものの大事にしながら、少しでも水持ちさせてほしいのだ。ボート・フェスティバルも、町並オリエンテーリングも、年毎に趣好をこらして水統させてほしい。小樽文学館を、あれよりよて実現させてしまつた町を、札幌の文学活動家たちは、やはりうらやましく思つてゐる。私はそれを心から願つてゐる。

愚かな反面教師の役どころを演ずるのではなくて、小樽を見習おうという範囲をこぞ、セニバコの人もランシマの人も、尻押しながら実現させてもらえないか。あちこちの都市が人為的に失なつたものを、小樽はまだ、持つてゐる。まだ持つてゐるから、持ち直す、

港は——。どう強弁しようとも、石狩港新港との競合おろか、役割分担さえも怪しいものである。全道からの遙良たる道会議員諸公は、石狩湾にこそ関心があるのであって、小樽港に色目をつかう仁はおらぬ。小樽女子をセン

jshii

画材専門店

石井ガクチ店



小樽市花園1-10-1 TEL 23-2492・32-4379



手宮の好きなおやじさんのいる店

中鮓處 忠

スタミナ満点! 味も抜群!!

うなぎかば焼、うな重がたつた1,000円

拓銀手宮支店ななめ向い

小樽市錦町11-2 ☎ 22-0261

飲み処みくらチェーン

- 若松「みくら」
- 稲穂「パール」
- 嵐山通り「おとずれ」
- 手宮「琴」

全店女性募集 TEL 23-1880

運河問題は終わつてない!!

遠くの山々が紅いに染まり、海も紅色の色がたちこめ、小樽の町にも、又、冬がやつてくる。

によって構成されている都市計画新本会そのものの存在すら、私達市民にとって、まったく無意味のように思えてならない。

樽市民は、8月29日、道都市計画審議会が運河を埋め立てて、六車線道路を造成することを了承するという知らせを受いたい夏の風の中で聞かされた。

しかし、その審議会には、小樽運河の保存を訴える、一般市民をはじめ多くの学識経験者を含む約千三百通の意見書(約四百通)が寄せられたが、審議会ではこの意見書の重太性を黙殺し、数の論理で決定をくぐら

5月に小樽にて開催された「第三回全国町並みセミナー」では全国から約500人の町並み保存の住民、学識経験者、そして行政の担当者が集まり、小樽運河および石造倉庫群の価値を、あらためて全国的なレベルで再確認し、7月のボートフェスティバルにおいては、18万人の人々が運河周辺に集まり、まさに小樽だからこそ、小樽運河があらかじめこころをしあげた記録であろうことは言うまでもない。

多數決の論理が民主主義の世の常であるなら、審議会に寄せられた千七百通の意見書のうち、10人中8人が運河に賛成という数を、審議会では存続を検討する時間も持つことなく粗略に扱い判断をくだすのは、住民の代

しかし、このような形で結着をつけた審議会ではあるが、この結果により私達は小樽運河のみならず、小樽の町並みを守っていくのは、あらためて行政ではなく、私達市民より他にはないということを再確認するに至り、小樽夢の街づくり実行委員会・小樽運河を守る会など運河保存を訴える人々だけではなく、今、私達市民一人一人が町づくりに向け歩き出さなければならぬのです。

9月に行なわれた「小樽運河を守る会」市民集会においては、二つのプロジェクト



お陰様で 〈第3回ポートフェスティバル〉 **どうもありがとう**

どうもありがとう！

A black and white illustration depicting a scene from a children's book. In the foreground, a large, expressive dog with a wide, toothy grin and large, bulging eyes stands in a puddle. It has a small tuft of hair on its head and is wearing a collar. To the right, a smaller dog with a white coat and a red collar is perched on a ledge or ledge-like structure. The background features two brick buildings with arched doorways; the left one has a cross on its roof. A group of people is gathered outside the building on the right. The entire scene is rendered in a classic, hand-drawn style.

●「この祭りの餌である、舟を毎年貸して下さっている、日本郵船海陸、北日本倉庫庫の皆さん本当にありがとうございました」と、船のおじさん、祭をやりやすいように、わざわざ時の移動までしてくれて、ありがとうございます。とても嬉しかったです。港湾福利センター、全港湾事務所のおじさん、今年もまた御迷惑かけました。すみません! 港湾福利センターのおじさん、移動トイレたと女の方のがかわいいそうだ、と、今までトイレスを使わせてくれたり、後音づけの時、みんなに本のニユースを見せる為了にテンションを見てくれば本当にありがとうございました。嬉しいです。

ホイホイハウス

A small cartoon character with a speech bubble above it, indicating they are speaking.

TEL 32-5748

手づくりの店 手づくりの味

主藏尾

とまどまい 大町旭館通り 〒470-0955

A black and white photograph of a large industrial complex. In the foreground, there's a complex arrangement of pipes, scaffolding, and what appears to be a construction site or a very old industrial area. Behind this, there are several large, multi-story buildings with gabled roofs and various architectural details. The image has a grainy, historical quality.

涼しい夏の総決算 “運河だけは熱く震えた”

〈第3回ポートフェスティバル

わたるボートフェスティバルは、18万
人の人々に楽しんでもらい、なおか
つ、大きな事故もなく終わることがで
きました。おのたった2日間のボート
フェスティバルの中に、僕達は、とて
も多くのものを得る事が出来ました。
3月から準備を始め、5ヶ月余りも
の間、夜寝る間もおしんでこの祭りに

度となく威しまし、立ち直らせてくれました。本当に、その頑張りにはただただ頭が下がるばかりです。以下、協力をここで下さった方々に、心から御礼を言いたいと思います。

●なんにもわからない、僕達の為に、
合同会議を開いてくれたり、色々教え

日を忘れません。

● タオル・Tシャツを先づて運営資金を作り、会場を造り、企画をたてた君達は、今年こそ本当の意味で「俺達の祭りだ！」と言いたい事が出来ると思います。今日、日本中で高校生の非行や、若者達の無気力がさけはれているけど、ぼくは言いたい「小樽の君達はかう！熱く燃えているゾ！」と、この夏、君達はピッカピカに光って、おめでとう！」

● 今年は素人出店が脚注にもなりました。2日間どうもありがとうございました。

素人だけの祭り運営を理解してくれて、出店を興奮してくれた会社、商店の皆さん本当にありがとうございました。

● ポートフェスティバルの運営資金で一番貴重な、Tシャツ、タオルを貢つて下さった小樽の皆さん、本当にありがとうございます。疲れてフラフラになつている人を見る、街でポーラーの丁シヤツを着ている人を見るとうっかりバラなくちやんと、また力が湧いてきました。



● 広 告

- ・ 国際ホテル・小樽専門店会・富士カラード・丸井今井・小樽三店会
- ・ 光楽堂樂器店・小樽ハモンド
- ・ 札幌ハモンド・グヤトーン・日日B
- ・ 三本コート・すえおか・北一硝子・鞍半・叫光楼・花嫁センター・ニシナガ美容室・ミッキー・ハウス・スマックボックス・ティアマン・池端菓子店・マツキーマウス・キヤトル・小鳴病院・菫莊のタクマ・N.A.I.T.O.・@さかの・エスト・石井鶴緑店・道通観光・精屋会館・安心堂薬局・森食堂・新海金物店・エマイユサ・ロン幸・異人館・ラボハーティ・S.F.M.G.・赤岩山荘・D-e

た

♪もう70になつた男でも

親父を思い出す

あなたは腕ききの石工だった

手供の頃のあなたの口ぐせは

運河造りの自慢話

にこり酒飲むたびゆかいに語る

遠い昔、その時代に、運河をつくった父親に焦点をあてて、この町を育んでくれた人衆の、その名も「小樽運河」なる唄が、つい先頃発売された



せめて夢を

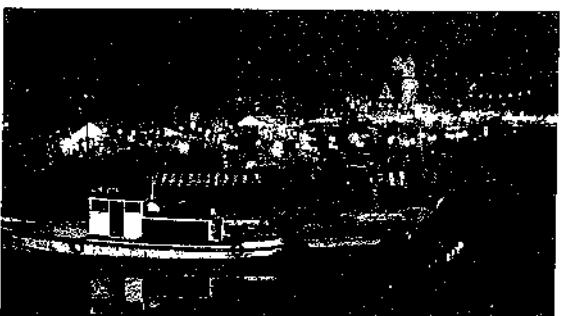
このように、ここには書けなかつた多くの小樽人の協力の中で始めて、ポートフェスティバルは、大成功に終わることができました。

本当にありがとうございました。

石井伸和

(宣伝部長)

ポートフェスティバル終焉



寄付その他でお世話をなつた方々

(順不同 敬称略)

- ・ 寄付
二ツカウキスキイKK
光合金KK
麻衣ミウ姫
峰山 富美
北生病院志田院長
エキサイ会病院院長
黄桜酒造
和弘食品社
- ・ 寄付
三万円
一万円
一万円
一万円
五千円
三万円



宣伝の場合、その最も効果をあげる要素は過去の実績である。実績は宣伝効果ばかりでなく、説得力にまで作用する実績があるなら、早い話、これらの仕事を日時と場所だけ、一般大衆に知らしめねば事は足るという極論すらある。しかしながら、今般は宣伝もひとつの企画となり、資金を生むとする実績があるなら、早い話、金額いう、全くもってありがたい御時事ではある。そななると、いくら手作りの業者と題しても、已ずと商店がからんでくる、商店を過外にして宣伝は語られる、商店の理にかなうなら、宣伝すればする程、その店舗代によつて金が生まれるという恒式が成り立つ。

そこで改めて、ポートの理念と宣伝の葛藤である。ポートの仕事は、自身不慣れもあり、過去のハタチング等製作しただけにとどまつた。またその多くは人の力を借りたのが実際である。加えて、現在、ポートの精神がそれが愈々なる、商店の理にかなうなら、宣伝すればする程、その店舗代によつて金が生まれるという恒式が成り立つ。

さて問題は、ポートの理念と宣伝の葛藤である。ポートの宣伝とは、ます皆様に興味を引かせることであり、そのままに興味を引かせることであり、そのひとつひとつにポートの理念が流れ、なおかつ金を生むという、一石三鳥の大目標が、この3回目にかけて実現されたのである。そこでテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等の伝達媒体は別にして、規模は小さくとも、もつと何かセンセーションナルな宣伝方法かと思ふた方が、こいつが非常にもの、むずかしいのだが、もう来年のポートの宣伝は始めねばならない。もとと光をかけた最後には、広告を入れてくれたスポンサー始め、宣伝の仕事に協力してくれた方々、そして三回目の実績を築いてくれた全ての人たちに、この書面を借りて感謝致します。

MERRY-GO-ROUND
メリーゴーランド

COFFEEと
おしゃべりの店
おたる手宮錦町
たくぎん手宮支店
左入る

のみどころ・食べどころ
すみあか

小樽市花園1丁目12番3号 TEL (23) 4700 (32) 4700

MERRY-GO-ROUND
メリーゴーランド

8-3 NISHIKI-MACHI OTARU
TEL 0134-32-2235

ふとん一筋の店
木綿わたのあたたかさ
齊藤ふとん店
小樽市錦町21-9
TEL 0134-33-1212~1214

そば処 簾 半
おたる・しづやどおり
TEL 0134-33-1212~1214

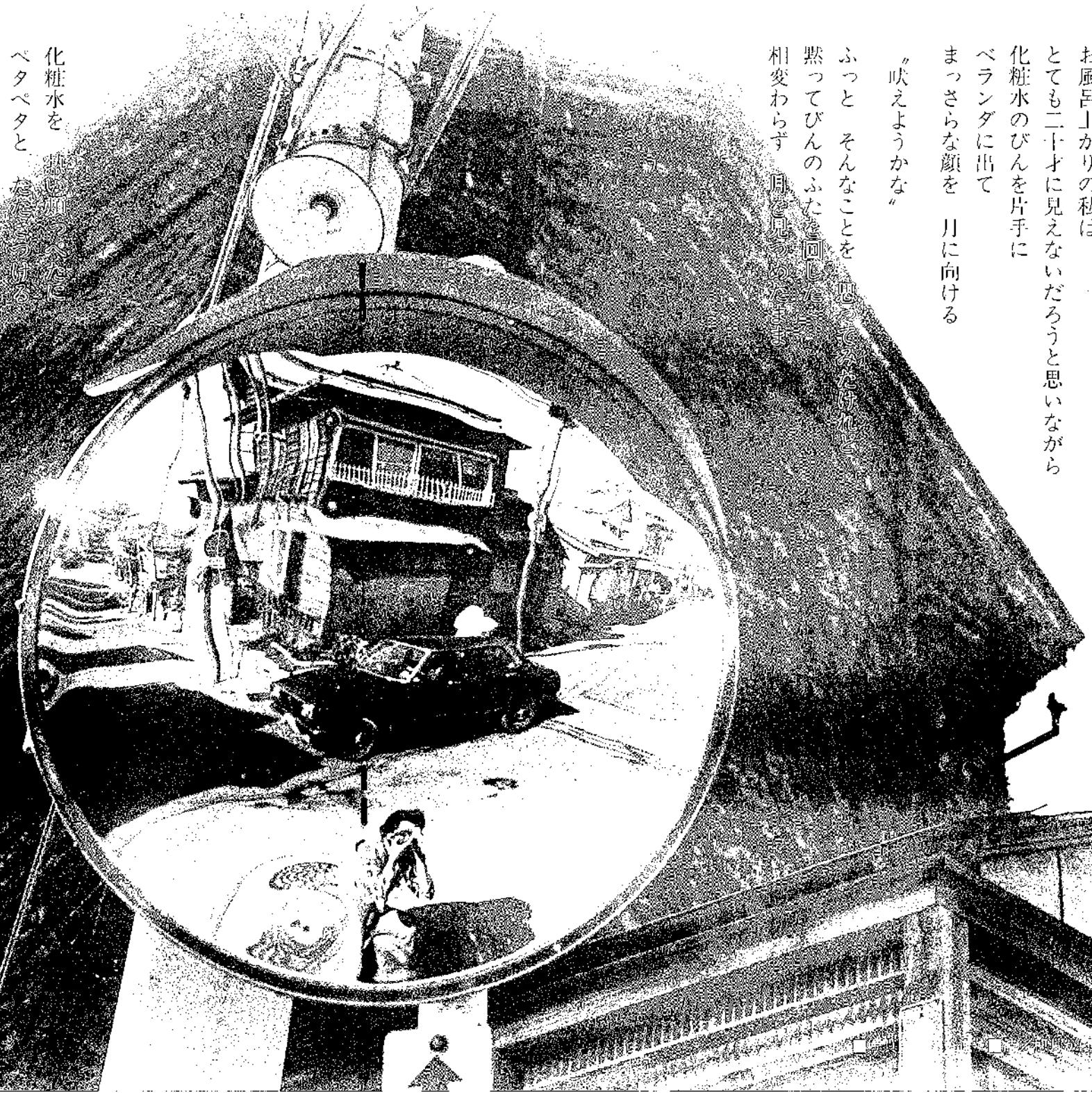
お風呂上がりの私は
とても二十才に見えないだろうと思ひながら
化粧水のびんを片手に
ベランダに出て

まつさらな顔を 月に向ける

吠えようかな”

ふつと そんなことを 黙つて びんのふたを回した
相変わらず 月を見つめなま

化粧水を ベタベタと
冷たい化粧水は
気持ちよく 肌にじる
しみこんだ分だけ
確実に美しくなつたらいいのに……
冬の冷気に
からだじゅうの湯気が吸いとられる
月の光に 私全體が次第にはつきりしてくるのが
わかる
せめて こんな月の晩くらい
もう少し美しい娘になれたらいいのに……



全国手作り祭り大旋風

—特派員報告レポート—

その1 神崇拝から足元崇拝の祭りへ 中島川まつり

北海道から九州へと祭りの真髓を探るべく派遣された、記者の目で見た祭りは……。5月の町並みゼミで小樽・夢の街づくり実行委員会と姉妹提携を結んだ、中島川まつりボートと、先に行なわれた「滝川・河原祭」の報告、またボートフェスティバルを体得した中で、果して手づくりのお祭りとは……。

①長崎市と中島川

日本最西端の町、長崎市の市街地を流れる中島川という約1kmに渡つて江戸時代に造られた石橋、14橋を持つ川が流れている。

原爆で多くの被災をこうむった長崎市の中での放射能と癌風からのがれて今まで当時の姿をそのままに残している。

この中島川は原爆落点を中心地から約3kmの隣りがあるのが川沿い10m先の光栄寺（福沢諭吉ゆかりの地で四百年の歴史を誇る大きな山門をもつ寺）の本堂は癌風を受け姿を消してしまっている。しかしこの中島川も、8年前までは川の周辺に悪臭が立ちこめ、川面には大小の木切れや空カン、果ては大猫の死骸から墓石までが埋め立てられたのだという。それが今では約百羽のあい鶴やあひる、数え切れない鯉や鮑、メダカ、スズボンが棲みつく「生きた川」となっている。川の合岸には光永寺の山門や石燈籠や松並木の参道があり、山門や石燈籠の参道が種独特の情緒をかもし出し、川岸などには水飲み場、大小数ヶ所の児童遊園地や公園などがあり平日でも老人や子供、一般市民や観光客が散策を楽しんだり、遊び遊ったり、休憩したりしている。中島川と石橋群とその周辺

は市民の憩いの空間となっているのである。

さて、中島川が「死んだ川」から「生きた川」に生まれ変わった直接の契機となつたのは、小樽と同様、道路問題からだった。

昭和39年に漫性的交通法規に悩む長崎市が、中島川と石橋群を破壊して幅員8mの自動車道とする「長崎市都市計画官ノ下土地区画整理事業」を事業決定し、昭和48年にはブルドーザーとパワーシャベルを繰り出して突如として工事を開始した。江戸時代の石垣を壊し、コンクリート製の護岸や欄干を作り変えていったのである。

かくしてその年「中島川を守る会」が発足する。

しかし長崎市内を回つてみると坂道の多いのに驚かされるが「小樽以上」島川大清掃が行われ、市民約千人の参加で、幅員がどの道路も極めて狭く、車線が不足している。自動車は車体をこすりあわせるように走っている。

またほんの数km走るのに1時間かかるのである。ドブ川でしかなかつた中島川を道路にしようとしたもの理解できるというものだ。

②保存運動の発展

ブルドーザーのゴウ音と石橋の破損事故が続発し出してから石橋研究、環境、交通問題に取り組み始めた市民や学生、そして中島川と石橋群をこのなく愛する地城住民は自費で、中島川西端線の一部を改善し公道道路とする件」という請願書を提出する。大激論の末、委員会では採択、本会議では21対23という僅小差で逆軽不採択となつた。しかし、この請願否決がかえって守る運動の地道を努力を誘発する事になったのである。

さて、請願はその後も何回となく出されたが、いずれも僅小差で採択にならなかつた。しかし運動はアツという間にさまざま展開をみせた。地元長崎総合科学大学、学生の水質調査、石橋保存への提携、「中島川文化講演会」月刊誌「中島川を守る」や小冊子の発行、手作り絵葉書の発売、「中島川芸術祭」「中島川音頭」のレコード化、フォトエッセイバルと較べても数段中島川の方が手作り色が濃い。④出店の物価が安い。市街地といふこともあり、高ければ必然的に売れないのである。しかし全く安いのである。特に実行委員会の出店などは安い。ソーメン食へ放題80円、水菓子50円、ヨーヨー50円など。また出店は常利を目的としている。出店料も安い。一般の人は50円。⑤子供のた

めのまつりである。ちびっ子物々交換市、中島川と石橋群を破壊して幅員8mの自動車道とする計画は今だに微回さない。一時標上げの状態なのである。しかし現在、中島川周辺は人々に親しみでいる「生きた空間」である。ブルドーザーのくい入るスキはない。もちろん、ここまでくるのは中島川の会、中島川まつり実行委員会、長崎総合科学大学や市民有志の多大な努力があつたのであるが、町並み保有運動の中においても新しい指針を示した事は疑う事のできない事実である。また多難な問題をかかえる町並み住民運動の中で、一つの理想的運動ともいえるのだと思つ。(中特派員)

昭和48年8月、長崎青年会議所は中島川にメダカと花をのキヤツチフ

リースで、守る会、婦人会、自治会などの各種団体に呼びかけ、「一万人大消掃」の音頭とりを行なつた。8月26日、数時間して汚れたドブ川が見違える程美しくなるという感動的シーンを作り出した。

この消掃運動は金剛的な「クリーンアップ大作戦」に発展していく。トラック70台分のゴミを運び去った後は、ボウフラを食べるメダカ3万匹が放流された。統一女子商業高校や市民有志の消掃が恒例化し、「わが中島川」の音頭とりを行なつた。

中島川への放流は、この6年間に30回をこえた。始めたのである。物をということになる。高橋な鷗やあい鶴、あひるを寄贈する市民が相次ぎ、中島川への放流は、この6年間に30回をこえた。

さて、請願はその後も何回となく出されたが、いずれも僅小差で採択にならなかつた。しかし運動はアツという間にさまざまな展開をみせた。地元長崎総合科学大学、学生の水質調査、石橋保存への提携、「中島川文化講演会」月刊誌「中島川を守る」や小冊子の発行、手作り絵葉書の発売、「中島川芸術祭」「中島川音頭」のレコード化、フォトエッセイバルと較べても数段中島川の方が手作り色が濃い。④出店の物価が安い。市街地といふこともあり、高ければ必然的に売れないのである。しかし全く安いのである。特に実行委員会の出店などは安い。ソーメン食へ放題80円、水菓子50円、ヨーヨー50円など。また出店は常利を目的としている。出店料も安い。一般の人は50円。⑤子供のた

③中島川まつり

中島川と石橋群の住民運動の一循として、昭和49年の春に長崎総合科学大学の数人が、小さな小さなお祭りを行なつた。既存のお祭りとは趣きを全く異なる「オーナークリエイティブ」と手づくりの品だけの中島川まつりの第一回目である。

その次の年から、祭りは春、夏の年二回恒例化し、一般社会人の参加もふえ徐々に規模も大きくなつていった。春はゴールデンウィークの3日間、出店が約10軒、人出は約7万人、夏は8月の下旬の1日だけ出店は約50軒、人出は約2万人、今年の夏まつりで通算13回目。市民の間に完全に「中島川まつり」は根づいている。小さな子供達は実行委員会に毎週でも毎日でもお祭りをやつて」という程なのである。30方程度の予算の祭りではあるが、「まりの後はまつりの前より美しく」との合

言葉が示すように、これが並のお祭り騒ぎでない事を如実に物語っている。現に今回の夏まつりでも午前中は「中島川大清掃」が行われ、市民約千人の参加で、幅員がどの道路も極めて狭く、車線が不足している。自動車は車体をこすりあわせるように走っている。またほんの数km走るのに1時間もかかるのである。ドブ川でしかなかつた中島川を道路にしようと計画したのも理解できるといふものだ。

さて、この中島川まつりの特色をいくつか上げると、この中島川まつりのお祭りである。ボーティング大会と較べても数段中島川の方が手作り色が濃い。④出店の物価が安い。市街地といふこともあり、高ければ必然的に売れないのである。しかし全く安いのである。特に実行委員会の出店などは安い。ソーメン食へ放題80円、水菓子50円、ヨーヨー50円など。また出店は常利を目的としている。出店料も安い。一般の人は50円。⑤子供のた

が参加する、老人ホームのおじいちゃん、おばあちゃんの古着の出店、車椅子の出店などがあった。また、彼らはのびのびと祭りにとけこんでいるのである。小さな祭りの大きな意義を強く感じさせにはいられない。⑤気軽に参加できるまつりである。参道を歩く見物客が実行委員と仲良くなり、いつの間にか出店の店番をしているなどという事など茶飯事である。またまつりの実行委員もお客様もにこやかにまつりを楽しんでいる。そんなのんびりとした心優しい雰囲気が会場に充満している。

その他の、夜の映写会では、原爆映画が上映された。小さな子供達はくいよいよ見ている。だが、あまりの悲惨さに「おかあさん、こわいよく」と泣き出す子供達もいた。

規模はボートフリーステイブルの5分の1くらいのまつりでしかないが、市民に根づいた、心あたたまるまつりだという事ができるだろう。また、彼らは常に、上の者より、自分の足元から下の者を優先させる。そこから市民との会話が生まれるのだと思う。

⑤結論

中島川と石橋群を破壊して幅員8mの自動車道とする計画は今だに微回さない。一時標上げの状態なのである。しかし現在、中島川周辺は人々に親しみでいる「生きた空間」である。ブルドーザーのくい入るスキはない。もちろん、ここまでくるのは中島川の会、中島川まつり実行委員会、長崎総合科学大学や市民有志の多大な努力があつたのであるが、町並み保有運動の中においても新しい指針を示した事は疑う事のできない事実である。また多難な問題をかかえる町並み住民運動の中で、一つの理想的運動ともいえるのだと思つ。(中特派員)

性マヒの会のラムネの出店
ラムネは1本60円



全国手作り祭り大旋風

—特派員報告レポート—

その2

スモール イズ ビューティフル 河原祭り

(滝川)

北海道の内陸地、空知にある滝川と

いう人口五万人そこそこの小都市で8月9日~10日の二日間に渡って「手づくり文化・わが街」とうたった第二回滝

川河原祭りが行なわれた。

場所は遊えど同じ手づくりの祭りを行なう仲間として、またボートフェニックスティバルの折には遠路わざわざ駆けつけ、我が祭りに参加してくれた彼らと

手づくりの祭りを会場で見守る者たちが、小舟連河原祭を訴える意見書をとり

て、私が祭りに参加してきた彼らと一緒に手づくりの祭りでも小樽

は唯一絶対の文化遺産。運河を会場として行なう、幾つもの目的をもつた祭りであるのに對して、滝川の祭りは、何にもないところ、文化という程の大

それなものもなければ心のふるさとを守ろうという趣旨もない。ただあるのは、何もないところから何かを作り出し育くんでいく。という本当に若者のカケにも似た勇気だけなのだ。彼らの祭りに関しての環境は小樽と比べると天と地ほどの差があるのである。

さて、祭りに参加してみて最初に感じた事は、「ちつぽけな祭りだなア」という事である。電線や架橋の量でボートフェニックスティバルの15分の1、出店の数で5分の1、祭りの予算で10分の1以下、実行委員の数で多めにみても5分の1、入出が20分の1なのである、

しかも滝川の市街地から2km以上も離れたところに会場が設けられたため、市内を歩く人達がプラントお祭りを見

るという事もない。しかし会場には小さい子供の手を引いて祭りを見にきた家族連れが多いのは驚かされた。人々で殺伐としているボートと比べるとその大きさやなごやかさ、また人

とのふれあいの中から生まれる親近感に愕然とさせられるのである。小さ

いけれど心のふれあえる祭。なのである。こういう次元ではボートは数段負けているのだと思う。

そしておもしろい事に定期預金やファリーカムバックセーモンを頃っているなどの名の売れた歌手達のステージは、あまりにも活々として祭りの中で活き上っているのである。祭りに全然マッチしていないのである。滝川の高校生の唄う、へたくそな唄の

方があのほのと祭りにやっ子しているのである。これは驚いた。そしてこそ素通りした事だと思った。

また、毎日日の日曜日は、まさに子供

のためのお祭りであった。子供達の親子が多いからそのままのかも知れないけれど、子供の天国なのである。子供達は学生の上にわざわざ実行委員のお姉さん方と一緒に歌を唄うのである。

また滝川の演劇好きの若者達の屋外演劇では精一杯の芝居をしてくれたお兄さんは大きな声で「おもしろかってた」と言うのである。その声が響き

たのめの祭りであった。子供達の親子が多いからそのままのかも知れないけれど、子供の天国なのである。子

供達は芝居の上にわざわざ実行委員のお姉さん方と一緒に歌を唄うのである。

また滝川の演劇好きの若者達の屋外演劇では精一杯の芝居をしてくれたお兄さんは大きな声で「おもしろかってた」と言うのである。

また出店、所謂手づくりバザールでは、個10円のおもちゃや古着がよく売れるし、物価もびっくりするくらい安いのである。きっとお祭りの出店で大

きうしてやるなどという下心のある人がいないからなのだろうが、とにかくこやなので手作りの心が満ちるのである。

本当に河原祭りは手作りの心が満ちあふれない祭りであった。これこそ、ハスル・イズ・ビューティフル。

所謂、地方の時代の最先端をいく祭りなのだろう。最後に9月1日の夜に、キヤンファイヤーを開んで、河原祭りが結婚披露がほのぼのと行なわれた事を付け加えておこう。

■ 特派員報告レポート その2

郷土の足跡 (第2回) 中江兆民の巻

アルコール中毒の為、評決の数に 加わり兼ね候に付き辞職仕候

午前五時、雨入りの小樽港に、函館からの定期船「蓬莱丸」が着いた。その船から突然と落りた一人の異風

の船の男と蓬莱丸の乗組員が、その船には大とおり、一刻の後、その姿は商店が軒を並ぶる繁華街内町の一角、北門新報社にタマと現われた。

その一角、北門新報社にタマと現われた中江兆民の如何にもばららしい着任であつた。

中江兆民を知らない人は少ないので参考までに人名典を引くと、

ルソの民約論を翻訳するなど、板垣退助らと並ぶ程の大人物なのだ。

さて北門新報の創立者、つまりスポンサーはニシン漁業と海産問屋を経営していた當時二十才二歳という若き日の金子元三郎氏であったが、どういづれも金子が道楽半分に背伸びに背伸びをした格へでてあった事はまず違ひあるまい。

民の略歴を見てみよう。

まず簡単にそれまでの「寄行」の光景を見せてみよう。

民の略歴を見てみよう。

長崎屋 クイックコーナー

アイカギ複製、靴、鞄、傘の修理、
ネーム入 その他家庭用品修理
なんでもご相談下さい。

小樽駅前長崎屋3階(カー用品隣) ☎33-3810

スカット修理
しましよう!



宴会ご予算に応じます

毎月第3木曜日ライブ唄長屋



毎夜9時 一匹みのるの三曲長屋

自家焙煎珈琲

……コーヒーだけの店……

あとりゑ

小樽市稻穂2丁目16番9号
phone 32-8686

小樽市場めぐり

妙見川市場の巻

妙見川の川の上に、どぶ板で蓋をしたような三つの細長い建物からなる市場、それが妙見川市場です。今では想像も出来ない事だが、戦後サハリンなどからの引あげ者が川の両側に沿って、小さなマーケットを開き、生活を支えていた。これが妙見川市場の原形となるのだが、そのマーケット群が妙見川の氾濫によって大きな被害をうけた。

小樽市は妙見川河川工事とともに、川の上に現在の三つの建物を造った。これが昭和38年のことである。たがこの建物造ったのだが、法律違反をしていて、河川法とかいう法律に違反しているらしく、造ってしまった小樽市が知っていたやうならぬやうともかく出来上がってしまった。店が次々に入るし、街の中心にあるだけに利用する人も多い。あつという間に小樽の領役市場の一つになってしまった。

夜の町花園と隣り合わせにあるせいか、夕方五時前になると男性の買物客、それもスイカが三つぐらい入るよう大きな買物袋をぶら下げた人が目につくし、きれいに頭を結ったスマックのママさんが、今日のお通しでも考

えているのだろうか、市場の中を歩いている。川の流れとともになりに曲った三つの建物はそれぞれいつの間にか特色ができている。

山側は八百屋が多く、真ん中には魚屋が多い。山側二つが一本の通路をはさんで両側に店が並んでいるのに、一番海側だけは左半分がない。

私事になるが、僕もよくこの市場を利用させてもらつた。真ん中の肉屋さんの、「豚コマ」グラム55円にたいそ

ている。川の流れとともになりに曲

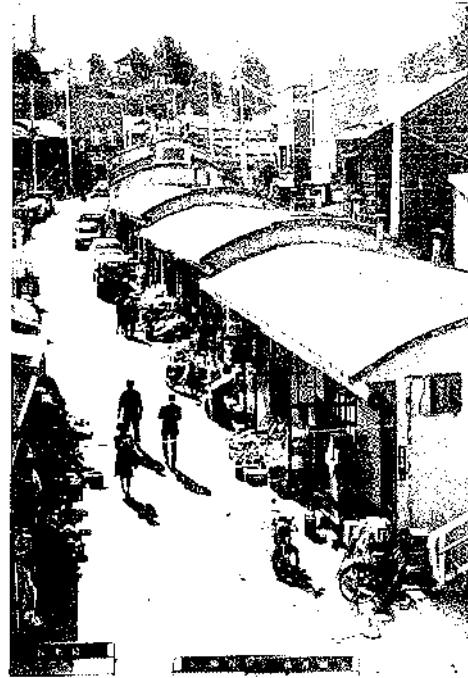
いしい食べ方を何種類か教えてもらひ、大根も買わずに葉っぱだけをいただいたこともあった。六時近くになると、おかげ屋のおでんの匂いの味が、大根にしみこんで香りを持つと形くすれ直前

これがおいしいのなんのまゝません。ボケトの中のグラッセを数え「おばさん、こんだけちようだい」とう言つと必ずおまけがあつた。

この妙見川市場も建物の老朽化が激しく建て直す話も出ているらしいが、

なにせ法律違反の建物なので建て直すとなる色々問題があるらしい。

ちなみに、妙見川市場の大家さんは小樽に月約52万円の家賃を支払っている。



私の住んでいる手宮という所は、どちらどこまで指すのかわからないが、私が勝手に区切つてみると大体鉢町・石山町・豊川町・清水町・樺ヶ枝町・末広町の六つの町で出来ていて、その六つの町にこれまで名前をあげると玉の湯、日の出湯、泉湯、ラジウム湯、危の湯、蔵の湯、仲の湯。それに末広湯と八つの銭湯がある。その中で玉の湯とラジウム湯には家族風呂がある。小学生の頃、友達とその銭湯めぐりをした事がある。風呂あがりの楽しみは何といっても食べたり飲んだりする冷たいアイスキャンディーやコーヒー、牛乳などであつた。その時に食べたキャンディーの味などは、ちょうど男の人方が食事の時にはいかないと思う。さて私の家にはいちらうバストールなるプラスチック型ではあるけれど風

呂が、がうんと存在しているが銭湯の方が好きなのでもっぱら銭湯通いをしている。

私の通う仲の湯は簡単にいうと、俗に本田沢と呼ばれている道路に面した特別にどうということのないごくありふれた銭湯である。



仙の湯の巻

(さなえ)

コンビニエンス ナカタ

稲穂3-4-17 TEL22-3947-33-1751

酒・食料品・日用雑貨・雑誌・その他たくさんの生活必需品を取り扱い、従業員一同深夜までお待ちしております。

**Coffeeya
Rokupence**

Coffee & JAZZ
The Waffle From Kentucky
phone 32-6984

ROCK & POPS

プログレッシブな居酒屋

とーても

稲穂2-16-13

TEL 32-2924

日夜社会を明るくするために努力する

電気工事一筋三十余年
御氣軽に御用命下さい

越前電気株式会社

錦町8-1 ☎33-2511

PICKUPS

ムーコ マチ 夢子 & お町

ふるさと井戸端会議

お夢ネエー、あなたの祝津に行った事ある？

お町 馬鹿にしないでよッ！祝津は子供の頃からレジャーランドのホームランドだよ。

お町 それじや、祝津の建物どのくらい知っているか尋ねてみてよ。

お町 簡単よ、練習殿でしょ、水族館でしょ、それに日和山灯台、ウーン、

お夢 そうそう、その瓦葺きの外便所
お町 まあ、「使所」だなんて！でもある
の頃のダックスちゃん可愛いかったね
お夢 まだすぐ、男の話にそれると?
にかく、そのまま外便所も加えた計
六棟が全部移転しちやうのよッ。
お町 でも、ニシン番屋なんて、結構
これで各地に保存されてるんじやない
お夢 道内へ駆逐漁網の漁家の面影を

タクシー

車の中は宴の余韻
カラオケ付き

新光 4-22-7
TEI 54-5394

お町 それがどうしたの？野嶋の「北村」なら、結局保存される事になるんだから一安心。

お夢 私が言いたいのは「道」でも「水久保存」しながらしているそんな価値のある青山邸が、また小樽から失われてしまつて事ヨツ。確かに、解体、撤去されてしまうより堺の香のない野嶋の原野ででも水久保存される方が、ヨリマシかもしれないけど。

お町 岡に上つたカッパつてどこかもね。でも、青山邸ってそんなにムキにならぬ程、素晴らしいもののな。

お夢 アタシ達って、以外と自分の町にあるものの価値を知らないのよね。本造瓦屋の田舎、棟焼きの石造文庫蔵、漁業資材置場用石碑、食料貯蔵兼船宿、理用石碑（ミソ倉）それに……。

お町 事によると、この「ふ」とえすた刊行号の80円紀行で、ダックススちゃんがつっていたバックの瓦葺きのトイレもそうち？

お町 『前科』つゞき。
お夢 道新の前身、小樽新聞社屋や明治19年建造の小樽官邸長官舍、これは道内最古の鉄道官舎なんだけど、それが小樽から「拓殖の村」に移転保存されるのを黙つて指をくわえていたんだから。
お町 そういえば、今年始めに小樽市漁協の赤レンガ倉庫（旧三井物産倉庫）が解体撤去されたり、協和資材倉庫は焼失するし、図書館も下手したら解体されてしまうって！」
お夢 それに斜旁千代本（山田町）もいつの間にか解体されたし、あの寿原邸も来春には……。とにかく、アタシ達が全然気がつかないうちに小樽のかけがえのない遺産がどんどん失われていっちゃってるのよ。
お町 でも、解体・撤去されるよりは「開拓の村」で永久保存される方がヨリマシなんじゃない？

ミツキーハウス

輸入ミツキー入荷中

しづやどおり 宮23-1516

お夢 何言ってるのヨ? どこの政党
みたくヨリマシな政府を? なんて言
つて、負けちやつたら、何にもなら
ないよ。運営ならいくら負けても次
があるけど。

お町 チミット、政治の話にいつちや
うの。

お夢 とにかく、道の「開拓の村」は
大止市の明治村のマネをしたもので、
いい事をマネする事に反対はしないけ
ど、明治村や「開拓の村」の存在が、
解体する側の一種の「免罪符」になつ
ているのが一番、問題なのよね。

お町 つまり、「解体したままでなく野
幌の開拓の村に寄贈しましたので御理
解を」ってわけね。

お夢 口の悪い人なんか、道の開拓の
村なんて知事の人気取りなんていう人
もいるわ?

お町 まあ、そこまで言うのもどうか
と思うけど、確かに「開拓の村」には
色々問題があるわよね。

鰐場の一大網戸として君臨した青山
邸が、杣津の現地に保存されるのが一
番好ましい事は明らかよね。でも「開
拓の村」側は、青山邸の保存の話が出

お夢 そう、そう「開拓の村」が、今後あり続けようとする限りその事が、つまり「開拓の村」の存在価値が問われ続けるっていう事なのよ。

お町 たまには意見の合う事もあるのね、アタシ達

お夢 身近な所では、札幌の時計台の現地保存と移転保存論争。

東京芸大の「泰葉堂」の明治村移転保存かの論議。これは明治23年、日本最初のオーデトリアムとして建築されたもので、ベートーベンの「運命」「田園」「第九」そしてチャイコフスキイの「悲愴」の本邦初演がなされた所で、何よりも東京の文化の森・上野の森の歴史を考慮して上野の森現地保存を運動しているわ。

成功した例では北海道・函館市の旧渡島支庁所舎が「道・開拓の村」に移転されるのに対しして市民が働きかけ、更に函館の観光政策ともガッチりあつて、市行政と共に協力して現地保存になつたという素晴らしい話もあるわ。



三

お夢 ほつきり言って、所有者一個人で金面的に保有し続けるというのは無理なのよね。『重要文化財指定民家』ですら、いろいろ保存のための悩みもついているくらいで、文化庁・大蔵省への優遇措置運動を展開しているくらいなのだから、もっと市の側も積極的に考えてもいいはずよね。

お町 たしか 小樽市には「歴史的建造物保全対策会議」が昨年つくられたらしいやないの。

た時、積極的に現地保存のための策を講じたのか、その事を働きかけたのかがシビアに問われる。その様に動いたにもかかわらず結論的に現地保存で改善の策として「開拓の村」に移転保存するよりないとなれば、理由が無理で火事の余地はあるけど?」

This image shows a single page of paper that has suffered significant damage. The paper is off-white or light gray, heavily stained with dark brown and black water damage, particularly along the right edge and bottom. There are also numerous small, dark spots and larger areas of discoloration. The text, which appears to be in cursive script, is completely illegible due to the damage.

寺原邸
破壊してしまうという事で小樽市教
に話を持つていつたけど、市は「外
保存案だけしか言わなかつたのよ」
お町 「道・開拓の村」の方は?
お夢 あちらの方は「外観・内部」
も全面永久保存(移転して)案よ
お町 それじや、青山家の遺族の方
「道・開拓の村」に寄贈するのも無
ないわよ。でも小樽市も、市史の中
も歴史的に位置を占める祝津三大綱
のうちの一つ、青山邸を外観保存だ
つて、ズイ分不。

葉つて、すぐ言った当人にハネかえってくるのヨ。『チンピ化した』のはそう言った当人の頭なのよネッ。

お夢 チンピ化した行政マンを持つた市民の悲劇をなげいても始まらないわよノでも、お町もすい分キツイこと言うのネ！

リンダ・ロンシュタット『グレイティスト・ヒット』



沖縄の熱風！喜納昌吉とチャンブルーズ『ブラッドライン』

沖縄の空のようにもいつも笑っている、ドン底の生活の中にも一條の光があるように、喜納昌吉の眼には、そんな精一杯の笑顔がある。悲しい顔をする事はたやすい、しかし人生のはむかせる苦しきを乗り越えて笑う事はむずかしい。チヤンブルーツの音の中には、そんな苦しきを乗り越えて笑っている精一杯の努力があるのでと思う。一人はつちで泣きたいた時は泣きまさはさい。だけど憎と顎を合わせた時は精一杯笑っていなさい。そんな事を僕は彼らから教えられる。神道民謡のおもしろさや面白さは日本のロックシンギングの中では一際光るもののがなのだけれど、僕はやはり沖縄の空や太陽なんだと思つ。そして彼らの音楽よりも心がたまつなく好きなんだと思う。(金欠貧鬼)

不眠症に捧げる アリ・アクバル・カーン「インド宇宙瞑想」

(上) 萩明のラーガ・朝のラーガ
下) 黄昏のラーザ・夜のラーガ

最近は我欲の強く出た音楽を聞くのが減る。年のせいからしら。毎日、外に対する反応の連続、たとえている風見鶏のようにしていて、さてがほんたり止まつたとなると、たいへんをもてありますのがせいぜい。たまにはみずから立ち止まつて、私は返つてみたい。そんな時に呼吸を正して聞いてみよう。

天体の運行に即して、^{時代}のエッセンスを抽出し続けてきた民族の存在感。人間全体の味をひときわおいしくいるに違いない。

サロヴァン名義のアリ・アクバル・ーンは、ラヴィ・シャンカールと弟子で、彼の義兄でもある。

コーヒーの香りの中で別世界を……



アンティック喫茶

伊麻里

おたる長崎屋東通りマルセン2階
☎0134-33-2346

■ 0134-33-2340

おやおのみたべどう

空32-8937 おたる静屋通(1)

フリーカメラマン、10年間の総決算『小樽運河』

小樽運河をこれだけ美しく撮った人が今までにいたんだろうか。三島 茂光さんは「僕の住む里は小樽です」といい切る。そして運河は汚れてるとかきかないとか言われていますが、本当はこんなに美しいのです。という、この写真集は運河が本当に美しい事を証明しているのだ。

そんな運河を愛し、小樽を愛する三島さんの心の高まりが、この写真のコマーニコマから聞こえてくるようである。

損得勘定抜きの一人のフリーカメラマンが食うや食わずで凍れる音の日の運河や、夜明け、夜ふけの運河を追い求め、心を映したこの400円の写真集はどれだけの値打ちがあるのか知りえないのだと思う。(三島 フォトオフィス 4000円)

三島基光＝昭和24年4月24日生まれ。札幌在住。この写真集を発刊するまでに準備期間も入れて十年の年月がかかったといふ。

知識や教養を深めるばかりが読書ではない『できそこない博物館』

SFショート・ショートの大御所が、新作が、作品になりそそごねたアドバイスのメモ既編を公開。しかも自ら解説試みでいる画期的な本、アインشتейンの過程、作品に生かさずボンなど反省由、工夫の余地はかなり多く、など反復未練をこめて書きつづっています。行のものから2ページにわたるものもあり、ひたすら一気に読んでしまうのもいい。なにしろ、できそりい（？）といえども、アーティストの奥義らショート・ショート作りの奥義のみ自分だけの作品を作つてみるのも、もししいし、ひたすら一気に読んでしまうのもいい。なにしろ、できそりい（？）とはいえた人の産物、メモアリーフ中には痛快な発想の大転換あり、じつとするブラック・ユーモアあり、もつかせぬもししさなのです。性とか教養とか、カタイことは言こなし。趣味に徹した愉快な本をまでみませんか。

自立する全女性に捧げる『娘の肖像

おしとり繪描き夫婦で有名な森本三郎氏と光子さん。札幌での「二人展」が盛大に終ったのものつかの間、今度は光子さんが自伝小説を出版した。

戦中、戦後の動乱の中、同じ画家である御主人との結婚、出産、育児、主婦としての忙しい毎日。そんな中で娘は時に、時にはすべてを投げ出して娘を扶持することに情熱を傾けてきた。娘が10才になつた頃、そんな自分の生きざまを娘に聞いかけることよく記録をすること2年余、手元に300枚の原稿用紙が重なっていた。

一何年か経つた時、こんな私の生き方を娘が判断してくれるだろ? そんな自分が続25年後の今、その娘さんも成長し、血は争えず出版社を営む中、母の小説を評価し出版する運びとなつた。

日々新鮮なニュース運びに努力する

北海道新聞　スポーツ・ニッポン
日本経済新聞　日経連新聞

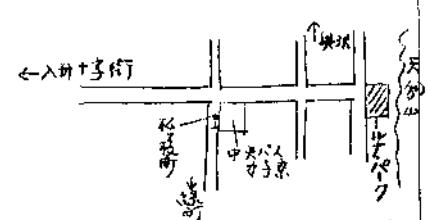
中新聞店

花園4 = 3 = 12 箱 \times 33 = 6063



INFORMATION 知つて得する小樽の情報

雑踏から逃れたい事は 誰にでもある『ルナ・パーク』



天狗山の麓、閑静な住宅地にオーブンした喫茶店「ルナ・パーク」。繁華街を遠く眼下に見下しながら、白壁の建ととした表題のたすまい。この場所にいつしかその姿を現わした時、その店の存在はまるですべて現代の世の流れを計算しつくしたように、街の歩道を進めてきた人々で埋めつくされた。何が他の店とどう違うというところは見当たらないのだが、ドアを開け、奥へ進みソファに腰かけ窓の外に目をやると小樽には庭の木々の緑の中で、静かな音楽とコーヒーの香りで午後のひとときを満たす喫茶店が今までなかったことに気がついた。

そんな手入れのぬき届いた庭の、秋の紅いに染まつた頃や、初冬の木々に降り積もる雪の白さを想像して何とも何やら胸に大きな夢をいだいているものと思ひ、質問してみると……

自分の生活ができる、従業員の生活ができる事が肝心な事で、小樽に対しては特別な夢は持つていません」とこれまでたんと答えてくれた。

何やら少し拍子抜けした感はぬくえなかつたが言葉の端々に安達さんの優しい人柄が感じられるようだった。

「学生時代（早大、明大）からアラスカのラングドール山などに登ついていて山には色々と興味があつた事と、就職は小樽でと考えていたのですが、これといった就職先もなかつたのでこういって店始めたのです」とたんたんと語ってくれた。

また山岳用品店と喫茶店を一緒にしたユニークな店を作った人とあれば、

小樽の山男、ガリベールを目指せ！

小樽駅から港方面へ、やや五分程度歩いていく。すると右手、北陸銀行の下に小さな喫茶店「ガリベール」がある。野菜サラダやボティセラダ（400円）のおいしい、12人で満席という小さなお店には本作りのカウンターを若い女性達が開く、絶音楽やモダンジャズを楽しみながらコーヒーをすっている。

その店の隣には山の男達の集まる登山アウトドア、山スキーや用品などを扱っている「赤岩山荘」がある。

なんとも奇妙なおりわせのその二つのお店が、店の中にある二つの出入

口によつてつながっている。さて、こ

どを被つて「赤岩山荘」がある。

古代文字の相葉子は、小樽ではここだけという老舗、吉乃屋さんをなすねてみました。どうしりと腰をすえた

店構え。さすが明治時代の建物だなと感服せずにはいられません。

甘い香りが店っぽいに漂つて、3代目の方の個性味で集められたとい

う逸物が、とても店の雰囲気に似合いました。奥からこの店の若奥さんが出て来ました。いろいろ話をうかがつてみると、吉乃屋は、明治17年、新富町にて開店、小樽駅前に移り火事の為仕上げ等の簡単な作業はパートの方3人で任んでやつているとのこと。

古代文字は、初代の方が手宮の洞窟の古代文字から、ヒントを得たものと

言われている。現在は富岡の方にも、

古代文字が発見されている。

宝船とか、福依は3代日の作品であります。京都へ行つた時、人形の型を見つけ、自分で製作したと書かれています。

福依は、月・水・金に発売しています。なぜかとたずねてみましたが、砂糖が固まる位、一旦溶かなければ、型

がくずれるし、「目とか鼻が欠けないようにするため」それに一つずつ紙にくずむから、手間かかる作業の為、多くは作れないとのことです。古代文字を使つた和菓子は、「坂中」「諸越」「汁粉」等が上げられます。値段の方も手ごろで、お土産にも喜ばれます。

営業時間 初9時から夜7時 定休日 日曜日

※福袋、宝船は月・水・金のみ発売

ペアルックで きまってるペー



今回登場している大いたのは、ニコ

ギンサンデバ、とお勤めの原田かおるさん（19）と豊川弘美さん（18）のペアルックのお二人です。

ちょうどこの日は、エアポート7に通りに行く所を、一見好青年風の僕と、いつものカメラマン君の取材に協力してくれました。

そこで、まずは軽くインタビューなど！

Q えーと、よく踊りには行くのかな。

そうですね、ひと頃よりは行かなくなつたけど、それでも週に一回は行つているみたい。

踊りに行く所を、一見好青年風の僕と、いつものカメラマン君の取材に協力してくれました。

Q お二人ともペアルックでバツチリキめているけど、いつもそうなの。買い物とか、遊びに行く時なんかはいつも二人みたい。意識しているといいます。自然にそのようになったみたいですね。

Q それじゃあ、最後に、これだけはぜひ聞いておきたいんだけど、二人ともBFなんかいるのかな。

（彼安達のリクエストによると、ここのは独説して書いてほしいとのこと）しかしもものことながら、僕とカメラマン君には目も向けてくれません。



おひなすた、お風、通事第10号

おひなすた、お風、通事第10号

日本、多天印紙社